平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名　扶桑薬品工業株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　4538　URL　http://www.fuso-pharm.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 戸田　幹雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長　(氏名) 為房　正信　TEL 06-6969-1131

四半期報告書提出予定日　平成23年8月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	10,229	△13.7	△140	―	△196	―	△226	―
23年3月期第1四半期	11,859	2.2	229	155.3	193	―	△181	―

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　△264百万円　(―%)　23年3月期第1四半期　△337百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△2.50	―
23年3月期第1四半期	△2.01	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	59,349	25,727	43.3
23年3月期	59,453	26,263	44.2

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　25,727百万円　23年3月期　26,263百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	3.00	―	3.00	6.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		3.00	―	3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,720	△9.8	170	△83.1	10	△98.8	△40	―	△0.44
通期	45,040	△5.1	670	△69.1	300	△81.7	200	△82.5	2.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

平成23年5月19日の平成23年3月期決算発表時に未定としておりました平成24年3月期第2四半期連結累計期間および平成24年3月期の通期の業績予想を本資料において公表いたしました。なお、平成24年3月期の業績予想に関するお知らせを、本日付で同時に開示いたしておりますので、ご参照ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	94,511,690 株	23年3月期	94,511,690 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	3,954,542 株	23年3月期	3,952,980 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	90,557,887 株	23年3月期1Q	90,585,225 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 ……2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 ……2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 ……3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 ……3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 ……4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
3. 四半期連結財務諸表 ……5
(1) 四半期連結貸借対照表 ……5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
四半期連結損益計算書 ……7
四半期連結包括利益計算書 ……8
(3) 継続企業の前提に関する注記 ……9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の激甚ショックによる大幅な落ち込みから再浮揚への力強い初動が見られ、６月には稼働率が90％水準まで回復した自動車産業などが震災直後の想定より生産正常化が大幅に早まる情勢で“企業の現場力”によって過去最大の落ち込みとなった鉱工業生産指数が震災前の水準への回復が見えてきた状況となり、大震災により４～６月期のＧＤＰが３期連続でマイナス成長に沈滞したあと、早くも７～９月期にはプラス成長に好転する公算が大きい見通しとなってきております。ただ、電力不足、円高などによる産業の空洞化、さらには、海外企業の日本への投資の敬遠など日本経済の潜在成長率低下のリスクを抱え、米・中・欧の難局と併せて内外の経済リスクに直面するなか、震災からの本格復興対策に臨む政局迷走の不安が夏場以降のＶ時型回復への復興需要景気の期待が殺がれかねない不透明感を抱かせるところであります。

一方、医薬品業界におきましては、東日本大震災の被災地の医療機関の復興が進まないなか、原発事故の放射線対策の緊急被爆医療も含め当面の課題が山積みしている。一方、政府の社会保障・税一体改革が打ち出され、後発医薬品使用促進、ＯＴＣ類似薬の患者負担引き上げなどが焦点となっており、薬価改訂の端境期ながら、市場停滞のなか新興国市場を狙う一貫生産拠点のインド進出、中堅製薬の独自開発で効率化を図るニッチ戦略、後発薬シェア拡大（2010年度で数量ベース27％、金額ベース9.4％）の普及促進策による加速など医薬品市場構造の変革が多面的に進展する様相となっております。

こうした市場環境のもと、当社グループにおきましては、主柱の医薬品事業では、課題の東日本大震災で被災した茨城工場が、いわゆる工場従業員の現場力で僅か１ヵ月で操業再開に漕ぎつけられましたものの主力製品の生理食塩液の500ｍL、１Ｌ、1.5Ｌのバッグ製品と２ＬのＰＬ製品や生理食塩液および注射用水開栓用の各100ｍＬ、500ｍＬ、１ＬのＰＬ製品が潤沢に供給できなかったことに加えて透析療法の血液ろ過型補充液のサブラッドＢＳＧの出荷が通常の３分の１の数量に止まったため、大幅な減収が余儀なく、また、震災影響で東北、関東エリアの製品物流の混乱と同業他社への製品供給の応急支援を依頼したこともあって殆どの主力製品が前年同期比で減収が止むない状況になっております。なお、６月には仙台支店、東京配送センター中心に営業部の現場パワーによって物流ほか営業活動の本格復旧を果たしております。また、㈱スリー・ディー・マトリックスから独占販売権を取得しております外科用止血材のＴＤＭ－621は、優れた止血効果と利便性を兼ね備えた従来にない新発想の製品として注目され広い市場ニーズが期待されており、５月31日付けで製造販売承認申請をしております。しかしながら、当第１四半期連結累計期間の医薬品事業の売上高は101億59百万円と前年同四半期と比べ16億33百万円（13.9％）の減少となり、不動産事業は69百万円と前年同四半期と比べ３百万円（5.9％）の増加となり、当第１四半期連結累計期間の売上高は102億29百万円と前年同四半期と比べ16億30百万円（13.7％）の減少となっております。

一方、利益面におきましては、売上減少に伴う売上原価と販売費及び一般管理費の占める割合が上昇したことにより、営業損益が１億40百万円の損失（前年同四半期は２億29百万円の利益）、経常損益も１億96百万円の損失（同１億93百万円の利益）、当四半期純損失が２億26百万円（同１億81百万円の損失）の計上が余儀ないところとなっております。

なお、本日、同時発表の当平成24年３月期の通期業績予想のごとく通期で当期純利益の確保を目ざすところでございます。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、593億49百万円と前連結会計年度末と比べ１億３百万円（0.2%）減少し、負債は、336億21百万円と前連結会計年度末と比べ４億32百万円（1.3%）の増加、純資産は257億27百万円と前連結会計年度末に比べ５億36百万円（2.0%）の減少となりました。なお、自己資本比率は43.3%と前連結会計年度末に比べ0.9%の減少となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期の業績予想につきましては、東日本大震災が当社グループの業績に与える影響を見通すことが難しいため未定としておりましたが、最近の状況および業績の動向等を想定し、次のとおり業績予想を開示いたします。

下表のとおり、大震災後の市場混乱の影響がなお尾を引いておりまして、売上高が第２四半期連結累計期間において前年同四半期と比べ9.8%の減少に、通期において前連結会計年度と比べ5.1%の減少が見込まれますため、売上高の減少に伴いまして利益が圧迫され、第２四半期連結累計期間におきましては当期純損失40百万円が予想され、通期におきましても当期純利益の計上を目ざすものの２億円と前連結会計年度と比べ82.5%の大幅減益が余儀ない見通しとなっております。

平成24年３月期の連結業績予想（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
第２四半期（累計）	21,720	170	10	△40	△0.44
通期	45,040	670	300	200	2.21

平成24年３月期の個別業績予想（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
第２四半期（累計）	21,700	160	10	△40	△0.44
通期	45,000	650	300	200	2.21

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表等

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,833	4,292
受取手形及び売掛金	19,042	17,496
商品及び製品	5,318	6,173
仕掛品	82	127
原材料及び貯蔵品	1,063	1,104
その他	764	738
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	30,103	29,931
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,780	8,665
土地	11,344	11,344
その他（純額）	3,942	3,894
有形固定資産合計	24,067	23,904
無形固定資産	201	187
投資その他の資産	5,081	5,325
固定資産合計	29,350	29,417
資産合計	59,453	59,349
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,249	11,166
短期借入金	6,168	7,217
未払法人税等	62	29
賞与引当金	805	414
その他の引当金	434	307
その他	4,573	5,304
流動負債合計	23,293	24,439
固定負債		
社債	350	300
長期借入金	5,384	4,710
退職給付引当金	1,016	1,095
その他の引当金	243	247
その他	2,901	2,829
固定負債合計	9,895	9,182
負債合計	33,189	33,621

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,758	10,758
資本剰余金	15,010	15,010
利益剰余金	6,372	5,874
自己株式	△1,406	△1,406
株主資本合計	30,734	30,236
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	△41
繰延ヘッジ損益	△54	△53
土地再評価差額金	△4,414	△4,414
その他の包括利益累計額合計	△4,471	△4,508
純資産合計	26,263	25,727
負債純資産合計	59,453	59,349

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	11,859	10,229
売上原価	8,590	7,392
売上総利益	3,268	2,836
返品調整引当金戻入額	10	1
差引売上総利益	3,278	2,838
販売費及び一般管理費	3,049	2,978
営業利益又は営業損失（△）	229	△140
営業外収益		
受取利息	4	1
受取配当金	25	27
保険関係収益	4	61
投資有価証券受贈益	45	－
その他	50	29
営業外収益合計	129	120
営業外費用		
支払利息	76	59
投資事業組合運用損	29	37
その他	59	79
営業外費用合計	165	175
経常利益又は経常損失（△）	193	△196
特別利益		
前期損益修正益	27	－
その他	0	－
特別利益合計	27	－
特別損失		
たな卸資産廃棄損	332	－
固定資産除却損	11	5
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	51	－
特別損失合計	395	5
税金等調整前四半期純損失（△）	△175	△202
法人税、住民税及び事業税	8	12
法人税等調整額	△1	12
法人税等合計	6	24
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△181	△226
四半期純損失（△）	△181	△226

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△181	△226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△134	△39
繰延ヘッジ損益	△20	1
その他の包括利益合計	△155	△37
四半期包括利益	△337	△264
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△337	△264
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。